



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月9日

上場会社名 札幌臨床検査センター株式会社
 コード番号 9776 URL <https://www.saturin.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桶谷 満
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 荘司 晃久
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東札
 TEL 011-613-3210

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	14,285	10.0	1,086	45.2	1,139	50.1	661	36.9
2021年3月期第3四半期	12,985	2.7	748	2.5	759	0.5	483	2.5

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 635百万円 (27.2%) 2021年3月期第3四半期 499百万円 (0.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	193.96	
2021年3月期第3四半期	141.17	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	15,510	10,023	63.2	2,877.99
2021年3月期	14,511	9,272	63.9	2,708.63

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 9,805百万円 2021年3月期 9,272百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		23.00	23.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,414	0.5	855	25.1	957	19.4	574	27.7	167.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) 株式会社札幌ミライラボラトリー、除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 有
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	4,216,000 株	2021年3月期	4,216,000 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	809,022 株	2021年3月期	792,722 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	3,411,956 株	2021年3月期3Q	3,423,278 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類 P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、ワクチン接種が進み、感染者数が減少に転じたことから、政府や地方自治体による各種規制解除を受け、社会・経済活動は回復基調で推移しております。

しかしながら、物価の高騰に加え、オミクロン株など変異株による感染者の増加により、再び政府や地方自治体による各種規制の懸念があり、経済状況におきましては、先行き不透明であります。

医療業界におきましては、医療費抑制政策等の社会的要請を背景に実施された薬価改定の影響に加え、新型コロナウイルス感染症の影響等により、更なる経営努力が求められる事業環境となっております。

このような状況の下、当社グループは、医療機関の多様化するニーズに応えた営業活動を展開し、継続的な企業価値の向上を実現すべく、各事業において新規顧客の獲得等による営業基盤の拡大と継続的な経費効率を重視した収益基盤の強化に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高14,285百万円（前年同期比10.0%増）、営業利益1,086百万円（同45.2%増）、経常利益1,139百万円（同50.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益661百万円（同36.9%増）と増収増益になりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 臨床検査事業

臨床検査事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、前年同期は医療機関による外来診療の抑制と受診する一般患者が減少する等が主要因となり、業績に大きく影響を与える状況となりましたが、当第3四半期連結累計期間におきましては、それらの主要因となる影響も回復基調となるに加え、PCR検査の受託が大幅に増加したことから、売上高5,537百万円（同23.9%増）と前年同期を上回りました。

利益面につきましては、本社ビルの移転に伴い検査設備を刷新したことから、減価償却費は増加しましたが、売上高の増加を主因に、セグメント利益741百万円（同107.7%増）と前年同期を大幅に上回りました。

② 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、薬価改正による薬価の引下げに加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、前年同期は医療機関を受診する一般患者の減少による影響を受けましたが、当第3四半期連結累計期間におきましては、その影響も回復基調となり、処方箋枚数が増加したことから、売上高7,944百万円（同0.7%増）と前年同期を上回りました。

利益面につきましては、人件費を含む経費が増加したことから、セグメント利益642百万円（同0.4%減）と前年同期を下回りました。

③ 医療機器販売・保守事業

医療機器販売・保守事業におきましては、備品及び福祉用具の販売が前年同期を上回ったことから、売上高724百万円（同30.8%増）、セグメント利益11百万円（前年同期はセグメント損失8百万円）と前年同期を上回りました。

④ その他の事業

臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守におきましては、売上高79百万円（前年同期比9.8%増）、セグメント利益54百万円（同1.6%減）になりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は6,695百万円となり、前連結会計年度末に比べ782百万円増加（前連結会計年度末比13.2%増）いたしました。これは主にその他が191百万円減少しましたが、現金及び預金が701百万円、商品が127百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が121百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は8,815百万円となり、前連結会計年度末に比べ216百万円増加（同2.5%増）いたしました。これは主に土地が97百万円、建物及び構築物（純額）が72百万円、差入保証金が62百万円それぞれ減少しましたが、工具、器具及び備品（純額）が347百万円、無形固定資産が86百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、総資産は15,510百万円となり、前連結会計年度末に比べ999百万円増加（同6.9%増）いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は3,458百万円となり、前連結会計年度末に比べ352百万円増加(同11.4%増)いたしました。これは主に賞与引当金が84百万円、未払法人税等が54百万円それぞれ減少しましたが、支払手形及び買掛金が290百万円、その他が181百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は2,028百万円となり、前連結会計年度末に比べ104百万円減少(同4.9%減)いたしました。これは主に長期借入金が100百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は5,487百万円となり、前連結会計年度末に比べ247百万円増加(同4.7%増)いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は10,023百万円となり、前連結会計年度末に比べ751百万円増加(同8.1%増)いたしました。これは、剰余金の配当78百万円、自己株式の取得が25百万円、その他有価証券評価差額金の洗替えが24百万円それぞれ減少しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益661百万円、合弁会社を2社設立したことから非支配株主持分218百万円によりそれぞれ増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は63.2%となり、前連結会計年度末比0.7ポイント下回りました。

また、1株当たり純資産は2,877円99銭となり、前連結会計年度末比169円36銭増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第3四半期累計期間において、計画を大きく上回って推移しておりますが、オミクロン株等の変異株による感染者が急速に増加し、依然不透明な状況が継続することから、2021年5月14日に公表しました予想値を据え置いております。

今後の業績の動向を踏まえ、修正が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,360,724	3,062,266
受取手形及び売掛金	2,778,934	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	2,900,195
商品及び製品	433,079	560,900
仕掛品	16,389	9,020
原材料及び貯蔵品	57,890	87,698
その他	295,035	103,920
貸倒引当金	△29,514	△28,965
流動資産合計	5,912,539	6,695,036
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,159,122	4,888,669
減価償却累計額	△1,448,670	△1,250,704
建物及び構築物(純額)	3,710,452	3,637,965
機械装置及び運搬具	42,365	27,089
減価償却累計額	△35,089	△21,192
機械装置及び運搬具(純額)	7,275	5,897
工具、器具及び備品	2,739,683	3,017,442
減価償却累計額	△2,317,702	△2,248,035
工具、器具及び備品(純額)	421,980	769,407
土地	3,526,697	3,429,506
リース資産	142,104	150,787
減価償却累計額	△50,839	△60,957
リース資産(純額)	91,264	89,830
建設仮勘定	—	20,000
有形固定資産合計	7,757,671	7,952,606
無形固定資産		
その他	42,154	128,646
無形固定資産合計	42,154	128,646
投資その他の資産		
投資有価証券	176,525	145,245
長期貸付金	125	28
長期前払費用	5,009	20,663
差入保証金	245,387	182,467
繰延税金資産	161,947	169,739
その他	226,974	233,033
貸倒引当金	△16,863	△16,841
投資その他の資産合計	799,106	734,335
固定資産合計	8,598,931	8,815,589
資産合計	14,511,471	15,510,626

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,293,762	2,584,627
1年内返済予定の長期借入金	133,987	135,367
リース債務	23,530	25,230
未払法人税等	249,055	194,615
賞与引当金	115,210	30,507
未払金	113,662	130,060
その他	176,724	358,418
流動負債合計	3,105,932	3,458,827
固定負債		
長期借入金	1,866,013	1,765,744
リース債務	80,203	77,355
役員退職慰労引当金	57,384	64,386
退職給付に係る負債	14,460	15,236
長期未払金	110,440	99,412
その他	4,652	6,053
固定負債合計	2,133,154	2,028,189
負債合計	5,239,086	5,487,016
純資産の部		
株主資本		
資本金	983,350	983,350
資本剰余金	1,015,270	1,015,270
利益剰余金	7,848,543	8,431,606
自己株式	△633,207	△659,124
株主資本合計	9,213,955	9,771,101
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	58,429	34,155
その他の包括利益累計額合計	58,429	34,155
非支配株主持分	—	218,351
純資産合計	9,272,384	10,023,609
負債純資産合計	14,511,471	15,510,626

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	12,985,355	14,285,788
売上原価	8,784,286	9,558,379
売上総利益	4,201,068	4,727,408
販売費及び一般管理費	3,453,059	3,641,047
営業利益	748,009	1,086,360
営業外収益		
受取利息	233	179
受取配当金	5,239	5,482
受取賃貸料	37,506	33,592
助成金収入	1,065	50,435
その他	8,463	11,704
営業外収益合計	52,508	101,393
営業外費用		
支払利息	1,869	6,869
賃貸収入原価	34,539	37,107
その他	4,947	4,300
営業外費用合計	41,356	48,277
経常利益	759,160	1,139,476
特別利益		
固定資産売却益	413	133
特別利益合計	413	133
特別損失		
固定資産売却損	—	10,960
固定資産除却損	289	753
投資有価証券評価損	11,735	—
減損損失	—	28,552
本社移転費用	—	74,486
特別損失合計	12,024	114,753
税金等調整前四半期純利益	747,549	1,024,857
法人税等	264,296	364,707
四半期純利益	483,253	660,150
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△1,648
親会社株主に帰属する四半期純利益	483,253	661,798

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	483,253	660,150
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,485	△24,273
その他の包括利益合計	16,485	△24,273
四半期包括利益	499,739	635,876
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	499,739	637,525
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△1,648

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

(連結範囲の変更)

第1四半期連結会計期間より、株式会社札幌ミライラボトリー及び株式会社札幌メディ・キャリアを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高、売上原価、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示しております。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。

これによる影響はありません。

(会計上見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当社は、2020年11月30日開催の取締役会において、施設の賃借契約解除に関する決議をいたしました。これにより、利用不能になる固定資産について耐用年数を短縮し、使用見込期間で減価償却が完了するように耐用年数を変更しております。

この変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の売上総利益は5,388千円、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ16,362千円減少しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	医療機器 販売・保 守事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,469,872	7,889,349	553,824	12,913,046	72,309	12,985,355
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	465,375	465,375	535	465,911
計	4,469,872	7,889,349	1,019,200	13,378,422	72,844	13,451,267
セグメント利益又は損失(△)	356,828	644,827	△8,916	992,739	55,433	1,048,173

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守による収入を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	992,739
「その他」の区分の利益	55,433
セグメント間取引消去	10,218
全社費用(注)	△310,382
四半期連結損益計算書の営業利益	748,009

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	医療機器 販売・保 守事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	5,537,336	7,944,685	724,378	14,206,399	79,388	14,285,788
外部顧客への売上高	5,537,336	7,944,685	724,378	14,206,399	79,388	14,285,788
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	994,096	994,096	723	994,819
計	5,537,336	7,944,685	1,718,474	15,200,496	80,111	15,280,607
セグメント利益	741,257	642,074	11,575	1,394,908	54,549	1,449,458

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守による収入を含んでおります。

2. (会計方針の変更)に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から「収益認識に関する会計基準」等を適用しております。

この変更による事業セグメントの売上高及びセグメント利益に与える影響はありません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,394,908
「その他」の区分の利益	54,549
セグメント間取引消去	△4,176
全社費用(注)	△358,920
四半期連結損益計算書の営業利益	1,086,360

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。